

山形大学基金

Yamagata University Fund

何よりも学生を大切にする山形大学
— 学生の学びを支援する山形大学基金 —



山形大学公認学生サークル「四面楚歌」



やまだ未来へつなぐプロジェクト ケヤキ並木等景観保存



山形大学附属学校(園)



やまだ未来へつなぐプロジェクト 地域の記憶 共創 アーカイブ



山形大学ギビングキャンペーン 2022

未来を担う人材を地域社会と共に 次世代に伝える山形大学基金

山形大学基金は、2016年の創設以来、卒業生や在学生の保護者、企業など多くの皆さまからご寄付をいただき、経済的に困窮する学生や、国際交流、課外活動への支援を行ってまいりました。特に、2020年4月から2022年2月末までは延べ1034人の方からのご寄付により、新型コロナウイルスの影響で家計に大きな影響を受けた学生に対して、様々な経済的支援を実施することができました。ここにあらためて御礼を申し上げます。

山形大学は、多様な人々・組織との共有・共創・共生を通じて地域社会の発展に貢献することを目指しています。そのために、山形大学基金の新たな枠組みとして、事業目標と期間を設定した寄付プロジェクト「やまだい未来へつなぐプロジェクト」を設けました。このプロジェクトでは、様々なステークホルダーの皆様とのエンゲージメントを拡大して、本学の地域における公共財（コモンズ）としての機能を高めることを目的としております。進行中のプロジェクトをここで紹介していますので、ご覧ください。

コロナ禍で国の財政状況が一層厳しくなり、国立大学に対する運営費交付金の増加が期待できない状況において、山形大学の社会的使命を果たす上で、本基金は一段と重要性を増しております。学生も、コロナ禍をきっかけにして、本基金が社会の皆さまからの温かい励ましであることを実感し、一層、勉学に励んでおります。

ここに山形大学基金への寄付をお考えの皆さまに、その概要をご案内いたします。本学はこれからも「地域創生」「次世代形成」「多文化共生」の3つの使命に邁進してまいりますので、皆さまのご理解とご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

国立大学法人山形大学

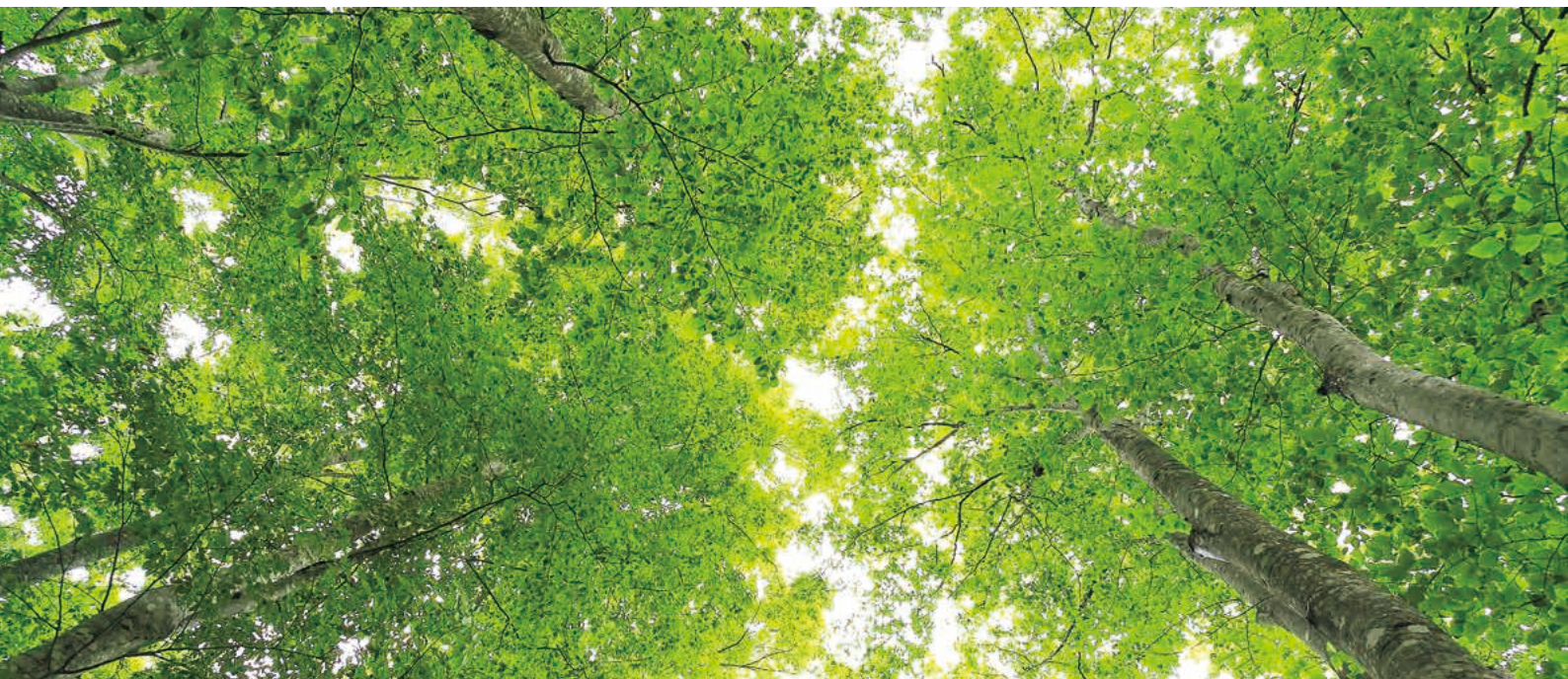
学長

玉手 英利



玉手英利

東北大学大学院理学研究科修了、
山形大学理学部長、小白川キャンパス長などを経て、2020年4月より学長に就任。

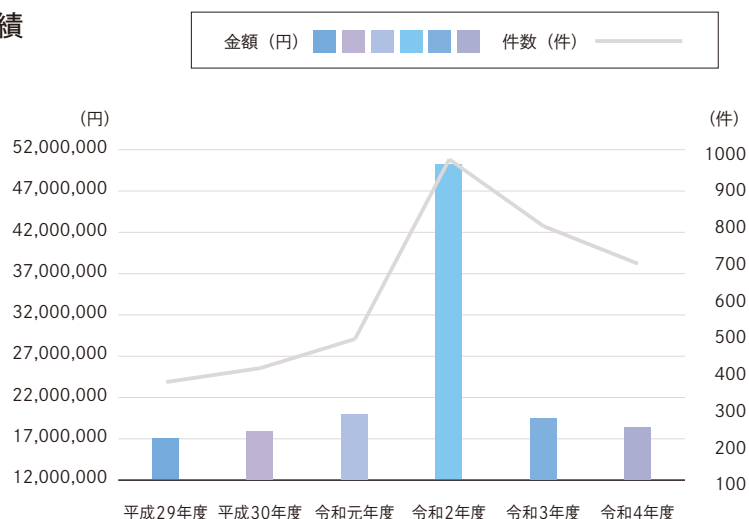


「山形大学基金」 状況報告

平成29年度から令和4年度の受入実績

	金額（円）	件数
平成29年度	16,955,788	368
平成30年度	17,832,228	406
令和元年度	19,871,772	485
令和2年度	50,127,884	974
令和3年度	19,457,916	792
令和4年度	18,337,500	690

※令和4年度は2月末までの実績



令和4年4月1日から令和5年2月末までの受入状況報告

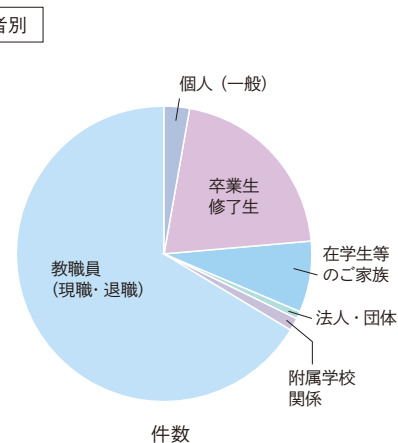
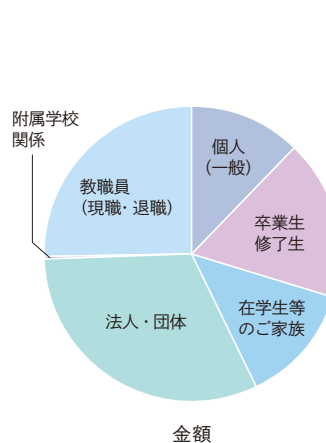
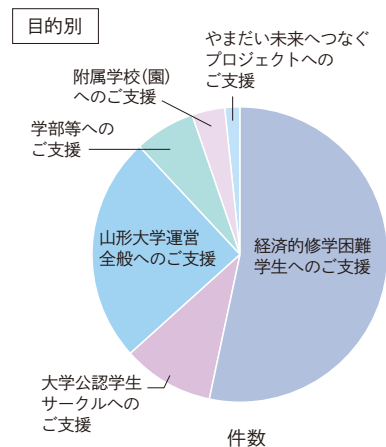
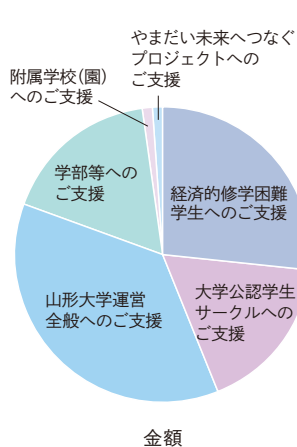
区分	金額（円）	件数
「山形大学基金」受入実績 令和4年4月1日 ～令和5年2月28日	18,337,500	690

（内訳1：目的別）

経済的修学困難学生へのご支援	4,913,500	368
大学公認学生サークルへのご支援	3,146,000	69
山形大学運営全般へのご支援	6,748,500	172
学部等へのご支援	3,165,500	45
附属学校（園）へのご支援	211,000	25
やまだい未来へつなぐプロジェクトへのご支援	153,000	11

（内訳2：ご寄附者別）

個人（一般）	2,245,000	20
卒業生・修了生	3,235,000	143
在学生等のご家族	2,404,000	54
法人・団体	5,783,000	7
附属学校関係	50,000	8
教職員（現職・退職）	4,620,500	458



ご寄付への謝意

- ご芳名の掲載 ご寄付いただきました皆さまに深く感謝の意を込めまして、ご芳名を山形大学基金ホームページに掲載し、永く本学の歴史に刻ませていただきます。なお、公開をご希望されていない方々につきましては、掲載をしておりません。
- 感謝状の贈呈 個人で100万円以上、法人・団体で500万円以上のご寄付をいただいた皆さまに、感謝状を贈呈いたします。
- 国の褒章制度 公益のために私財をご寄付いただいた方に授与される『紺綬褒章』に、ご寄付者のご意向を確認の上、公益団体認定を受けている本学から文部科学省に申請いたします。授与基準に基づき、500万円以上のご寄付をいただいた個人及び1,000万円以上のご寄付をいただいた団体を対象としております。

御礼メッセージ

大学公認学生サークルへの支援

多大なるご支援への感謝と今後の抱負

山形大学花笠サークル四面楚歌会長 元木美歩

日頃より、花笠サークル四面楚歌の活動につきましてご理解とご支援いただき心よりお礼申し上げます。

私たち四面楚歌は、新型コロナウイルス感染症拡大後、お客様に直接演舞を披露させていただく機会が減っていましたが、今年度はありがたいことに「東北絆まつり」や「山形花笠まつり」を初めとした多くの場所で演舞を披露させていただきました。また、11月に行われた Yamagata University Giving Campaign2022 で、多くの方

のお力添えをいただき参加団体1位を獲得できたこと、12月に開催した花笠感謝祭2022で多くのお客様にご来場いただいたことなどから、長年応援してくださっている方や地域の皆様に愛されたサークルであることを実感いたしました。

今後は、山形の伝統文化を広めるサークルであることの責任と誇りを感じながら、さらにパワーアップした演舞を披露できるよう精一杯活動していきたいと思っています。皆様からのご期待に

お応えできるよう、メンバー一同日々の練習に励んでいきますので、今後とも応援のほどよろしく願いいたします。



令和4年度 花笠サークル四面楚歌

附属学校（園）への支援

子どもたちの学びの環境をよりよいものに

山形大学附属学校運営部長 三浦登志一

山形大学附属学校園の「将来構想の実現と充実に向けた支援基金」へのご支援をいただき、厚く御礼申し上げます。

文部科学省のGIGAスクール構想を受けて、山形大学附属学校園では、ICT環境の整備を進めました。基金にいただいたご支援を生かして、子どもたちが情報機器を使って自らの学びを豊かなものにすることができるよう、授業での活用を進めているところです。

現在、山形大学附属学校園では、

自分たちが生活している郷土を基盤として、地域に学ぶコミュニティ・スクールの実現に向けて取り組んでいます。子どもたちの学びの場を学校から地域に広げ、地域を知り・日本を知り・世界を知る—そんな子どもたちに育てていきたいと考えています。

子どもたちが多くの方々から支えられていることを感じながら、感謝の思いを持って学ぶことができるように、附属学校運営部としても力を尽くして参

ります。今後ともご指導・ご支援をよろしくお願いいたします。



経済的修学困難学生への支援

支援を受けた学生からの御礼メッセージ

自分は長子で妹と弟がいることもあり、妹や弟のことも考えなければいけない両親に、経済的に負担をかけているのが忍びなかったのが、今回の支援金はとてもうれしいものになりました。ありがとうございます。

(人文社会科学部 3 年)

自分は決して裕福な家ではなく、奨学金も限度額を借り、バイトをしてなんとか普通の大学生らしい生活を送っております。今回の寄付金を大切に利用させて頂くとともに、より一層学業に励みます。この度は、本当にありがとうございます。

(地域教育文化学部 2 年)

この度は私たち山形大学の学生のために、山形大学基金へ寄付金をお寄せくださり誠にありがとうございました。新型コロナウイルスの流行で今までの学生生活が失われ、何かと制限も多く人との関わりも少なくなって孤独を感じる毎日ですが、皆さまからの支援が、経済的にも精神的にもとても温かく、感謝の気持ちでいっぱいです。

(医学部 2 年)

父が定年退職し、収入が大きく減りました。母はパートで働いています。私と妹がともに大学生であり、学費負担が大きくなっています。あと半年の学生生活をお金の心配をせずに過ごすことができると考えています。よろしくお願いします。

(農学部 4 年)

私は山形県出身ではありません。4年前の大学進学を機に、山形で学生生活を送ってきました。4年間の学部生時代を通して、将来山形県で心理専門職として働くことを考えています。今回の修学支援に感謝しつつ、社会に貢献できる専門家になるべく、勉学により一層励んでいきたいと考えています。

(大学院社会文化創造研究科 1 年)

この度は山形大学基金からの修学支援を行っていただきありがとうございます。コロナ感染症の拡大から、勉学、アルバイトでの不安が多いなか、このような支援は非常に助かります。私は生活費を自分で賄っている為、生活が非常に苦しく、授業料免除は不許可になってしまうため、大学院を辞めようか迷っていました。これを機に、卒業できるように頑張ろうとする気持ちになりました。本当にありがとうございます。

(大学院理工学研究科 1 年)

これからの生活が不安でしたが、金銭的のみならず、精神的にも安心しました。この支援を糧に、山大出身者として社会に貢献できる人間になれるように精進します。この度は誠にありがとうございました。

(大学院理工学研究科 1 年)

この度は、新型コロナウイルス感染症の流行によって影響を受けた山形大学生のために寄付をしていただき、誠にありがとうございました。心より感謝申し上げます。多くの方からご支援を頂き、驚くと共に大変感謝しております。皆様から頂いたお気持ちを忘れず、これからも精進してまいります。この度は本当にありがとうございました。

(大学院理工学研究科 2 年)

山形大学基金への寄付のご案内

山形大学基金は、 本学における学生支援及び教育研究支援等に資することを目的に創設いたしました。
山形大学の更なる飛躍と発展のために、 皆さまからの末永いご支援とご協力をお願いいたします。

経済的修学困難学生への支援

経済的な理由で修学に困難がある学生等に対して支援を行うことにより、 意欲と能力のある学生が希望する教育を受けられるよう支援することを目的としています。

具体的には、 次のように活用されます。

- 入学料、 授業料及び寄宿料の全部又は一部免除
- 学資金の貸与又は給付
- 学生の海外への留学に係る費用負担
- ティーチング・アシスタント及びリサーチ・アシスタント業務に対する手当等負担

※経済的修学困難学生への支援に係る 「税制上の優遇措置」について

平成 28 年度の税制改正により、 国立大学法人等が実施する修学支援事業（経済的修学困難学生への支援に限る）に対する個人の方々からのご寄付については、これまでの「所得控除」に加え「税額控除」の適用対象となりました。

本学の「修学支援事業特定基金」へのご寄付は上記に該当いたしますので、 確定申告の際に、 ご寄付者において、 所得控除又は税額控除、いずれか一方の制度を選択いただけます。

大学公認学生サークルへの支援

小白川、 飯田、 米沢、 鶴岡の各キャンパスにある各「大学公認学生サークル」を個別に指定してご支援いただくことができます。（7 頁参照）

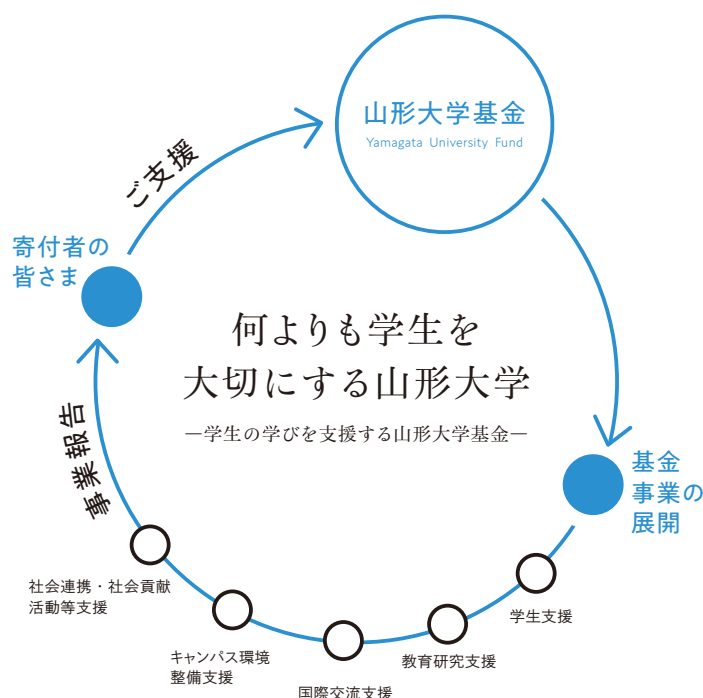
（例）飯田キャンパス：硬式テニス部
鶴岡キャンパス：吹奏楽団



山形大学運営全般への支援

以下の支援事業を柱としております。各年度の具体的な支援事業につきましては、本学にご一任願います。

- 学生支援
課外活動（団体、サークル等）、
キャリア形成・就職、優秀学生への奨学金等
- 教育研究支援
基盤共通教育・専門教育、学術研究推進等
- 国際交流支援
海外留学、外国人留学生、海外大学との交流等
- キャンパス環境整備支援
安全・安心・快適なキャンパス整備、
バリアフリー対応等
- 社会連携・社会貢献活動等支援
卒業生等との交流、ボランティア活動、
地域交流・貢献活動等
- その他基金の目的達成に必要な支援



学部等への支援

学部等（所属する研究室を含む）を指定してご支援をいただくことができます。

（例）〇〇学部（研究科）、〇〇学科（専攻）、〇〇研究室
附属病院

本支援へのご寄付の一部（30%）は全学事業に充当させていただくこととしております。

附属学校（園）への支援

附属学校（園）GIGA スクール構想に基づく ICT 等の環境整備へのご支援、新たな教育（将来構想）に基づく研究活動、教育活動へのご支援をいただくことができます。

附属学校園の将来構想 GIGAスクール ▶



やまだい未来へつなぐプロジェクト

本学の使命に貢献し、かつ、目的と期間を限定した寄付プロジェクトです。

より個別・具体的な教育研究活動、キャンパス環境整備、大学経営環境の向上等を推進します。

なお、各プロジェクト終了後に、寄付金の使用用途等を報告します。（8頁参照）



やまだい未来へつなぐプロジェクト

現在2つのプロジェクトを実施しています。

●ケヤキ並木



キャンパス長メッセージ

米沢キャンパスのケヤキ並木は、約 110 年前の 1910 年に開校した旧米沢高等工業学校本館と工学部の最先端の教育研究施設群の間に位置にしています。それはまるで、偉大な先人たちの歴史と伝統をつなぎ、米沢キャンパスで学ぶ学生たちと“米沢の 100 年をつなぐ道”のようでもあります。

私たちは、この“米沢の 100 年をつなぐ道”に新たな息吹を吹き込むため、右記のとおり、その名称を広く募集するとともに、キャンパスの財産でもあるこの並木の保全、緑地整備等に対して、「山形大学基金」で募金をお願いするプロジェクトを立ち上げました。

米沢キャンパスは、皆さまと守り、創り上げるコモンズです。皆さまのご理解とご協力を心よりお願い申し上げます。



前米沢キャンパス長 中島 健介

ケヤキ並木等景観保存へのご支援をお願いいたします



ケヤキ並木の名称募集

市民の皆さまや、本学の卒業生、学生・教職員に親しまれ、“米沢の 100 年をつなぐ道”でもあるケヤキ並木に相応しい名称を広く募集いたします。



ケヤキ並木の景観保全

旧本館を中心とする歴史景観の一部として、現在のケヤキ並木の景観を保持しつつ、持続可能な並木かつ安全な散策路として、樹木剪定及び樹木周辺の植栽を行います。



米沢キャンパスのコモンズ化

米沢キャンパス全体を地域におけるコモンズ（公共財）と捉え、市民や学生・教職員の交流・憩いの場として整備します。



ケヤキ並木持続方針（仮）の作成

今回名称を公募し、景観を保全する並木を“米沢の 100 年をつなぐ道”として持続可能なものにするため、「ケヤキ並木持続方針（仮）」を作成し、学内外で共有いたします。

●地域の記憶「共創」アーカイブ



地域の記憶 **共創** アーカイブ まちと人の未来のために

★山形市中心市街地の江戸時代から現代

山形市の中心市街地は現在刻々と変化を遂げています。この事業は、今記録しなければ失われてしまう資料と風景、オーラルヒストリー（人びとの証言）、博物館が収集してきた資料などをデジタル化してインターネット上で共有する仕組みの構築です。事業が実現すれば、左の文翔館（旧山形県庁）のように、過去から現在までの地域の変化を未来に残すことができます。

★地域と大学との共創

デジタルアーカイブの構築にはさまざまな人たちの協働が不可欠です。地域に残る資料から、街並みから、語られる話から、山形大学の研究者が地域にとって大切な記憶を引き出し、その価値をわかりやすく伝えます。地域とともに歩み、その発展のために尽くしてきた山形大学だからこそ今、取り組めることです。

★未来のために

デジタルアーカイブをまちの人びとと共に創っていくことは山形大生たちが身の回りの地域を見つめなおし、愛着を持つきっかけになります。まちの記憶をいつでも振り返れることはまちづくりに取り組む方々に役立ちます。それだけでなく、小中学校の授業での教材化や、公開講座など、さまざまな世代にその成果を還元します。デジタルアーカイブは、未来の地域に生きる人々に対する、今の私たちからの贈り物です。

山形大学公認学生サークル一覧 (令和5年2月1日現在)

(令和5年2月1日現在)

小白川キャンパス

体育系	● clover ～硬式テニスサークル～	● 基礎スキー同好会	● 柔道部	● 卓球部	● バラグライダー部
	● King Kids	● 弓道部	● 少林寺拳法部	● 男子サッカー部	● バレーすっぞの会
	● SALIBANDY 部	● 競技舞蹈部	● 女子サッカー部	● 男子バスケットボール部	● バレーボール同好会
	● Style&表現研究会	● 剣道サークル	● 女子バスケットボール部	● 男子バレーボール部	● フェンシング部
	● アーチェリー部	● 剣道部	● 女子バレーボール部	● 男子ハンドボール部	● フットサル同好会
	● 合気道部	● 硬式庭球部	● 女子ハンドボール部	● チアダンスサークル「Cherries」	● フライングディスク同好会
	● アイスホッケー部	● 硬式野球部	● 水泳部	● トライアスロン部	● ボクササイズサークル
	● アクアライフ	● 小白川バスケットボール会	● スキー部	● 軟式野球部	● ラグビー部
	● 汗をかく会（AKK）	● 小白川ビリヤードサークル	● スノーボードサークル「FreeStyle」	● パーベスクラブ	● 陸上競技部
	● アメリカンフットボール部	● コピーダンスサークル	● 漕艇部	● バドミントンサークルスマッシュNo.1	● ワンダーフォーゲル部
文化系	● 居合道同好会	● 自然に親しむ会	● ソフトテニス部	● バドミントン部	
	● 空手道部	● 自転車部	● ソフトボールサークル	● 花笠サークル「四面楚歌」	
	● IF (International Friendship)	● お笑いサークル	● 茶道部	● 生物学研究会	● 学び場プラス
	● IVY youth	● 音楽愛好会	● 史跡サークル	● チーム道草	● 漫画研究会
	● JAZZ 研究会	● 音楽研究会	● 篠笛愛好会	● 地学研究会	● マンドリンクラブ
	● JCC	● かるた部	● ジャグリング同好会	● フィルハーモニーオーケストラ	● 模擬裁判実行委員会 (学部研究機関)
	● アカペラサークル 「Smile」	● 郷土食文化研究会	● 写真部	● 美術部	
	● 囲碁将棋部	● くるみぼたんの会	● 障害児教育研究会	● フリーバーバーサークル "Y-ai"	● 八峰祭実行委員会
	● うたごえサークルとまり火	● 軽音楽研究会	● 書道部	● 文芸部	● ラジオサークル HBK
	● 裏千家茶道サークル千歳	● 劇団めざまじどけい	● 吹奏楽団	● 放送研究会	● 料理サークル「CUCINA」

飯田キャンパス

体育系	● 合気道部	● 柔道部	● バトミントン部	● ARK	● 自転車競技部
	● 空手道部	● 準硬式野球部	● バレーボール部	● SALIBANDY 部	● 自動車部
	● 弓道部	● 少林寺拳法部	● ハンドボール部	● アーチェリー部	● 柔道部
	● 競技スキー部	● 水泳部	● フットサル部	● アクアライフ	● 少林寺拳法部
	● 剣道部	● ソフトテニス部	● ヨット部	● アメリカンフットボール部	● 漕艇部工学部支部
	● 硬式テニス部	● ソフトボール部	● ラグビー部	● 居合道同好会米沢支部	● ソフトテニス部
	● ゴルフ部	● 卓球部	● 陸上競技部	● 基礎スキー同好会 Big Boots	● 卓球部
	● サッカー部	● バスケットボール部	● ワンダーフォーゲル部	● 弓道部	● バスケットボール部
文化系		● 剣道部		● バドミントン同好会	
		● 工学部 Work Out		● バドミントン部	
	● DoD (Dance or Die) ダンス部	● 囲碁将棋部	● 室内合奏団	● 硬式庭球会	● 花笠サークル四面楚歌 工学部支部
	● YMSA (Yamagata Medical Student Association)	● 映画部	● 聖書研究会	● 硬式庭球部	● バラグライダー部
	● 軽音楽部 Sound Room		● 同窓会新聞部	● 硬式野球部	● バレーボール部

米沢キャンパス

● ARK	● 自転車競技部
● SALIBANDY 部	● 自動車部
● アーチェリー部	● 柔道部
● アクアライフ	● 少林寺拳法部
● アメリカンフットボール部	● 漕艇部工学部支部
● 居合道同好会米沢支部	● ソフトテニス部
● 基礎スキー同好会 Big Boots	● 卓球部
● 弓道部	● バスケットボール部
● 剣道部	● バドミントン同好会
● 工学部 Work Out	● バドミントン部
● 硬式庭球会	● 花笠サークル四面楚歌 工学部支部
● 硬式庭球部	● パラグライダー部
● 硬式野球部	● バレーボール部
● 小白川バスケット米沢支部	● 表現研究会
● サイクリングサークル	● 陸上競技部
● サッカー部	● 和道流空手道部
● 自然に親しむ会	● ワンダーフォーゲル部

鶴岡キャンパス

体育系	● T.O.F.C	● 少林寺拳法部	● 花笠サークル四面楚歌	文化系	● JAZZ 研究会	● コンピュータ研究会
	● アーチェリー部	● 漕艇部農学部支部	● バレーボール部		● アカデミーストリングス合奏団	● 茶道部
	● 合気道部	● ソフトテニス部	● ビリヤードサークル		● アカベラサークル Lien	● ジャーリングサークル
	● アクアライフ	● 卓球部	● フットサルサークル		● 吾妻祭実行委員会	● 写真サークル TAKE!
	● アメリカンフットボール部鶴岡支部	● 軟式野球サークル	● フライングディスク同好会		● 囲碁・将棋部	● 人力飛行機研究会
	● 自然に親しむ会	● バスケットボール部	● 陸上競技部		● 音楽サークル 青い空	● 吹奏楽団
● 自転車部	● バドミントン部	● ワンダーフォーゲル部	● ギター・マンドリンクラブ	● 聖書研究会		
文化系	● OH,ONE!	● 重音楽研究会	● 農学部ジャズ研究会	● グリークラブ	● 地学研究会	
	● アカベラサークル Smile ☆鶴岡支部	● 吹奏楽団	● ほとりあ・環境調査サークル	● 軽音楽研究会	● 漫画研究会	
	● うたごえサークルとまり火	● タキタロウボランティアサークル	● マンドリンクラブ	● 競馬サークル	● 無線研究会	
	● 鶴寿祭実行委員会	● 地学研究会	● 森の民	● 劇団スピリッツ	● 模型サークル	
	● 献血推進サークル	● テーブルゲームの会		● 工学部 VR 部	● ゆきんこ	
				● 国際交流サークル YUICY	● ロボ・タスティクス	

山形大学基金 ご寄付への謝意について

山形大学基金のホームページにご芳名、学生からのご寄付者への御礼メッセージを掲載しています。
下記の QR コードまたは URL から是非ご覧ください。

https://www.yamagata-u.ac.jp/jp/fund/about_fund/gratitude/



株式等の現物資産によるご寄付

「山形大学基金」への土地・建物株式等の現物資産のご寄付につきましては、所定の手続きによりみなし譲渡所得税が非課税となります。

現物資産のご寄付をお考えの場合は、基金担当へお問い合わせ願います。

遺贈によるご寄付

遺言で相続人のほか、山形大学を受遺者（遺言によって財産の遺贈を受ける者）としてご指定いただくことにより、ご寄付をいただくことが可能です。

本学では、本学に遺贈をお考えの方々にお役に立つよう、高度な専門性と豊富な経験を有する信託銀行と協定を締結しております。

遺贈によるご寄付をお考えの場合は、基金担当へお問い合わせ願います。

なお、本学へご遺贈いただきました財産については、原則として相続税は非課税となります。

また、本学へご遺贈いただきました財産は、大切に運用しながら学生の修学支援や教育・研究環境の整備に活用させていただきます。

みずほ信託銀行株式会社 仙台支店

〒980-0811 宮城県仙台市青葉区一番町 3-1-1
TEL 022-215-8793

三井住友信託銀行株式会社 仙台支店

〒980-0021 宮城県仙台市青葉区中央二丁目 1-7
TEL 022-224-1147

ご寄付のお申込み

ご寄付に際しては、各種のお申し込み方法がございます。Web サイト並びに添付の払込票によるご寄付が可能です。ご不明な点がございましたら、お気軽に基金担当へお問い合わせ願います。

山形大学基金 Web サイト（PC、スマホ）からのお申込み

山形大学基金

検索

<https://www.yamagata-u.ac.jp/jp/fund/>



山形大学基金 HP

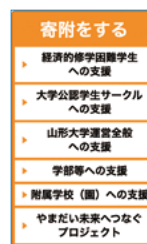
お振込方法

- ▶ クレジットカード決済
- ▶ インターネットバンキング決済（ペイジー）
- ▶ 銀行振込（ゆうちょ銀行・郵便局を含む）
- ▶ コンビニ決済（払込票タイプ）

「寄附をする」をクリック



または

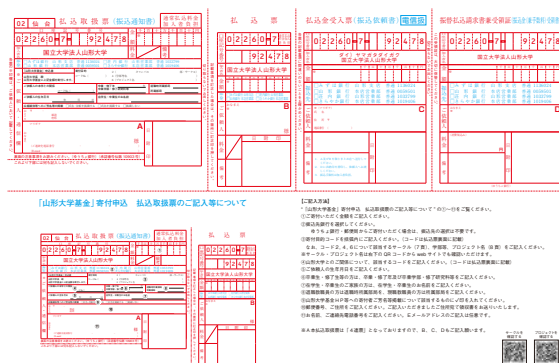


寄附目的を選択してクリック

画面の指示に従って、必要事項を入力のうえお申し込みください。

継続寄付（毎月、年2回、年1回）をご希望の場合、クレジットカード決済でお申し込みください。

払込取扱票（本紙挟込み）からのお申込み



- ・用紙の下部「ご記入等について」及び裏面のコード表をご覧ください、ご依頼人・通信欄をご記入ください。
- ・郵便局及び銀行においてお振込みください。
- ・ゆうちょ銀行（郵便局）窓口およびATMにて現金でお支払いの場合は、1件当たり110円（税込）加算されますのでご注意ください。なお、ゆうちょ銀行の通帳およびキャッシュカードでお手続きされる場合は加算されません。

税制上の優遇措置

山形大学基金への寄付金は、所得税法上の寄付金控除の対象となる特定寄付金（所得税法第78条第2項第2号）又は法人税法上の全額損金算入を認められる指定寄付金（法人税法第37条第3項第2号）として財務大臣から指定されております（昭和40年大蔵省告示第154号）。

また、個人から山形大学基金にご寄付いただいた場合、「所得控除」が適用されますが、経済的な理由で修学に困難がある学生等に対する支援にご寄付いただく場合は、「所得控除」と「税額控除」のどちらかを選択することができます。

■個人の場合

（1）所得及び所得税の寄付金による控除

寄付金控除には、[A] 所得控除と[B] 税額控除の2種類があります。ただし、[B] 税額控除については、経済的な理由で修学に困難がある学生等に対する支援のための「修学支援事業特定基金」にご寄付された分についてのみ適用となります。確定申告の際には、寄付者ご自身においてどちらか一方の制度をご選択ください。

[A] 所得控除

各寄付者の所得に応じた税率を寄付金額に乗じて、所得税額から控除

$(\text{寄付金額}^{\ast 1} - 2,000 \text{円}) \times (\text{所得に応じた税率}) \rightarrow \text{所得税額から控除}$

[B] 税額控除

各寄付者の所得に応じた税率に関係なく、所得税額から直接寄付金額の一定割合を控除

$(\text{寄付金額}^{\ast 1} - 2,000 \text{円}) \times 40\% = \text{控除対象額}^{\ast 2} \rightarrow \text{所得税額から控除}$

※1 寄付金支出額が、総所得金額等の40%に相当する金額を超える場合には、40%に相当する額が税額控除対象寄付金となります。

※2 控除対象額は、所得税額の25%が限度となります。

【参考例】

年収500万円（平均的な税率20%）の方が1万円を寄付した場合

所得控除 $(10,000 \text{円} - 2,000 \text{円}) \times 20\% = 1,600 \text{円}$

税額控除 $(10,000 \text{円} - 2,000 \text{円}) \times 40\% = 3,200 \text{円}$

（2）個人住民税の寄付金による控除

山形大学へご寄付された翌年1月1日のご住所が次の自治体の方は、確定申告の際に、住民税の寄付金控除もあわせて申告することにより、翌年度の住民税から控除されます（令和5年にご寄付された場合、令和6年度の住民

税から控除）。確定申告をせずに住民税の寄付金控除のみを受ける場合は、各自治体に申告してください。

- ・都道府県の指定：山形県
- ・市町村の指定：山形市、米沢市、鶴岡市

※上記の自治体及び今後、山形大学を住民税控除の対象法人として指定した自治体から要請があった場合は、寄付者名簿を提出することになっておりますので、ご了承願います。寄付者名簿には、寄付者氏名、住所、寄付金額、寄付受領日を記載いたします。

$(\text{寄付金額}^{\ast 3} - 2,000 \text{円}) \times \text{住民税控除率}^{\ast 4} \rightarrow \text{住民税額から控除}$

※3 控除対象となる寄付金額は、その年の総所得金額等の30%が上限となります。

※4 住民税控除率は、都道府県の指定は4%、市町村の指定は6%、双方指定の場合は10%となります。

（3）寄付金控除の手続き

寄付金控除を受けるためには、ご寄付された翌年の確定申告期間に所轄税務署で確定申告を行ってください。確定申告の際には、山形大学が発行する「領収書」（税額控除を受ける場合は、併せて「税額控除に係る証明書」の写し）が必要になります。

※領収書等は、本学で入金の確認が取れ次第、お送りいたします。

※確定申告書は国税庁ホームページ「確定申告書等作成コーナー」から作成することをお勧めします。

※確定申告についてのご相談は、所轄税務署へお問い合わせください。

■法人の場合

寄付金は、当該法人の各事業年度の所得の計算上、全額損金に算入されます。

山形大学基金担当

〒990-8560 山形県山形市小白川町一丁目4-12 TEL 023-628-4497 FAX 023-628-4185

E-mail : yu-kikin@jm.kj.yamagata-u.ac.jp <https://www.yamagata-u.ac.jp/jp/fund/>

